

本学事務職員のプロジェクトチームが入賞したイベントについて掲載されました

令和3年(2021年)4月10日 土曜日

大 學 新 聞

(2001年5月22日第3種郵便物認可)

女性が働きやすい職場づくり

職員チームの発表が入賞

北海道科学大学



職員らによるチームが「オーティエンス賞」を受賞

3月17日、株式会社北海道新聞社(本社・札幌市)が主催する「第4回 HATAJO パーティーオンライン HATAJOワード」が開催され、北海道科学大学(同)を運営する学校法人北海道科学大学(本部・同)の事務局職員6人によるチームが「オーティエンス賞」および「大塚製薬賞」を受賞した。「HATAJOパーティー」は、女性同士が企業の垣根を越えて結びつき、「女性が働きやすい職場環境」の実現を目指す。3月17日、株式会社北海道新聞社(本社・札幌市)が主催する「第4回 HATAJO パーティーオンライン HATAJOワード」が開催され、北海道科学大学(同)を運営する学校法人北海道科学大学(本部・同)の事務局職員6人によるチームが「オーティエンス賞」および「大塚製薬賞」を受賞した。「HATAJOパーティー」は、女性同士が企業の垣根を越えて結びつき、「女性が働きやすい職場環境」の実現を目指す。

目指すプラットフォーム「HATAJOラボ」が年に1度開催しているイベントだ。北海道で働く女性である「HATAJO」たちが、日頃どのような気持ちで働いているのか、思いや取り組むを発信・共有する場となっている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、ライブ配信アプリ「YouTube Live」等を活用してオンラインで実施された。同イベントのプログラムの一つとして開催されたのが、「HATAJOワード」だ。これは、女性の働き方について考え、行動を起こしている女性および企業の声を募集し、表彰するコンペティション。当日は、ファイナリストの企業4社が「女性が働きやすい職場づくり」をテーマに、それぞれ自社の取り組みについてプレゼンテーションを行った。

学校法人北海道科学大学の事務局からエントリーしたのは、理事長・学長政策室の入江真由美さん、滝本修士さん、永田里紗さん、教職員課の井口祐理子さん、就職課の永峰由佳さん、地域連携・広報課の菅原有理佳さんによるチームだ。いまでは全体の4割近くを女子学生が占める北海道科学大は、平成28年の女性活躍推進法の施行をきっかけに、女性のエンプロイアビリティ(雇用される能力)向上への支援や、女性が働きやすい・活躍できる職場の構築を目指している。入江さんと永田さんは、「熱意をかたちにできる職場」と題して、「自己研鑽費助成制度」「公募型研修」といった職員への教育支援や、契約職員から専任職員としての雇用転換を後押しするための登用ルートの確立、働きやすい職場づくりに向けたITツールの活用事例など、その具体的な取り組みを発表した。



「大塚製薬賞」を授与された入江真由美さんと永田里紗さん

同チームの発表には、一般視聴者による投票が最も多かった企業に贈られる「オーティエンス賞」が授与されたほか、入江さんと永田さんにはベストプレゼンターに対して贈られる「大塚製薬賞」が授与された。当日発表されたプレゼンテーション動画の視聴などについては、同ウェブサイトを確認ください。

「大学新聞」第190号(令和3年4月10日発行)掲載